

にけーしよん

12/21 美味しかった愛南の真鯛!

産地(養殖真鯛)の優位性を活かした「ぎよ・ショック!ツアー愛南の真鯛フルコースin久良」(南宇和観光協会、JRフープ松山支店が共催)が行われ、松山市などから17名が参加されました。

当日は、久良漁港で真鯛の捌き方や食べ方の説明を受けた後、久良公民館で真鯛のしゃぶしゃぶ、刺身、鯛めしなど、鯛づくしの食べ放題を満喫していました。初夏のかつおツアーにも参加された井上昌彦さん(松山市)は「鯛も、とても美味しい。年明けからのカキツアーも参加します。愛南の味の虜になりました」と笑顔で話してくれました。



12/23 やったあ!

ビンゴゲームで貰ったよ

一本松山村開発センターで、一本松公民館一本松分館主催の「クリスマス会」があり、一本松地区の保育園児や小学生、約50名が、中学生の歌や踊り、ビンゴゲームなどで盛り上がっていました。



12/26 元気をありがとう!

県立南宇和病院で、南宇和高校吹奏楽部が「ミニコンサート」を行い、外来や入院患者の皆さんに音楽で「元気」をプレゼントしました。このコンサートは、県立南宇和病院の依頼を受けて実施(今年で3回目)しているそうです。当日は「部員の輝いた表情やエネルギーギッシユな演奏を見ると、とても癒される」と、多くの患者さんが話されていました。



1/5

愛南漁協で、賑やかに「初市」!

愛南漁協深浦本所で、初競りを祝う「初市」の式典が行われました。

濱田伊佐夫組合長は「魚価の低迷等、依然、厳しい状況が続いているが、組合員の皆様とともに、この苦境を乗り越えていきたい」と、あいさつがありました。その後、この日、水揚げされた「かつお」など、仲買人らが威勢良く競り落としていました。



愛南こみゆ



12/8 シーフードのことなら私に!

愛南漁協の梶田秀樹さんが、四国で初めてとなるシーフードのスペシャリスト「シーフードジュニアマイスター」に認定されました。シーフードジュニアマイスターは、魚のソムリエともいわれ、魚食に関するあらゆる知識や知恵、技術を習得して、その価値や魅力を伝えるという役割を担います。梶田さんは「ぎょしょく教育や町内外のイベントを通じ、愛南の海の幸をアピールしていきたい」と、今後の抱負を語られました。

12/10 津波は怖いよ!

船越小学校6年生の授業で、四国内に残る地震、津波等の自然災害に関する物語や言い伝えを基に編纂された「四国防災八十八話」を活用した紙芝居の読み聞かせがありました。

授業では、その編纂に携わった愛媛大学防災研究センターの鳥居謙一副センター長を講師に招き、船越湾を想定した津波被害等を学んでいました。授業の中で児童たちは「津波の恐さを感じた。家に帰って、家族と話したい」と感想を述べていました。



12/13 サンタさん、ありがとう!

クリスマス飾り一色に包まれたDE・あ・い・21で「第15回パールイルミネーション」が行われ、参加した約400名にサンタクロースから一足早いクリスマスプレゼントが手渡されていました。また、冬空に輝くイルミネーション(12/13~1/10)の点灯式も行われ、道行くドライバーの目を楽しませていました。



12/19 元気で過ごしてください!

町城辺赤十字奉仕団(委員長、濱孝子さん)の皆さんが、城辺地域で緊急通報装置を設置した独居老人43名を訪れ、シクラメンの花鉢を贈りました。奉仕団の方も「独り暮らしをされている高齢者に、花鉢とともに元気を届けることができ、とても良かった。今後も、お年寄りが寂しい思いをしないよう、声かけ運動をしていきたい」と笑顔で話されていました。(文 橋本百代広報編集委員)

